

今月の自然



まつぼっくり いろいろ

とよほっと新聞

～笑顔de共育で～

令和3年10月1日発行
 豊玉保育園
 〒176-0013
 練馬区豊玉中4-13-6
 TEL 3991-4484
 FAX 3991-3872

月の主題

思い切り身体を動かそう



今月の保育のねらい

- ・ 戸外活動を十分に楽しみ、落ち着いてじっくりあそぶ
- ・ 集団あそびを楽しむ

本格的な秋の始まり
 季節の変化を感じて
 楽しく活動

金木犀は、ある日突然に、どこのお宅の花も一斉に咲き、それまで匂わなかった香りがかなり遠くからでも漂ってくる不思議な特徴があります。先月の半ば頃金木犀の香りの心地よさを感じました。さて、空の色や雲の様子、身近な草花畑のさつまいもの実り、こうべを垂れる稲穂、とんぼ等々、子どもたちの五感がたくさん活躍する秋本番の季節が訪れました。

自然に触れながら戸外あそびをして子どもたちは、多くのことを習得していきます。足取りが少しずつしっかりしてきたり、友だちと手をつないで歩くことが上手になったり、少し長い距離を歩く力がついてきたり等々、年齢によって様々な姿が見られることでしょう。散歩にも積極的に出かけていきたいと思いま



上記の著者・児童神経医の北畑秀樹氏の講演会より一部紹介

★子育ては至さがしの長期戦！

あら捜しの短期戦にしないで！

北畑先生がうさぎと亀の話で「どつしてうさぎがまけたのですか？」といきなりの質問！

うさぎが油断したから、というの普通は考えつくことです。

ところが・・・うさぎは亀だけを見ていたからで、亀はゴールだけを見ていたからです。「目からウロコの回答でしょう」と、著書の中で示しています。

★出来ない事を怒るより、いけないことを叱る！！

- ①分からないうちから、できない。
- ②分からないから、しない。
- ③分かっているのに、できない。
- ④分かっているのに、しない。



上の4つはちがいます。①と②は躰やルールの基本をちゃんと教えて、練習させて、励まし、誉めるのですとの説明をしています。

《中間の考察》を行う ～子どもから考える～

令和3年度も6か月が過ぎ、今月の園内研修では中間反省を行うことになっています。前半の保育の振り返りを行い、後半の保育について深く考え、対話をしていきたいと思えます。保育実践で使用する言葉に「反省」「振り返り」「考察」「省察」などがありますが、しいて言うなら反省ではなく、よく考えて前に進んでいく意味合いを含めて『考察する』を使用したいと思えます。

一人ひとりの子どもたちは、ものすごく考えて毎日を生きているのですが、

- ◆『子どもたちの権利』を大事にできているかしら？
 - ◆保育環境の見直しや遊具の入れ替え、生活面の見直し、子どもへの対応等において、もしかすると、「昨年もこの時期からは〇〇してた」「△△さんが言ったから」というような判断をしてしまうことはなかったかな？
 - ◆子どもをよく見て状況を捉えているようで、実は、経験値や感覚で保育していることはないかな？
- など、真摯な気持ちをもって、中間の考察ができるようにしていきたいというのがわたくしの本音です。



子どもは、自分の声を聴き取られる権利と、自分の声が正当に評価される権利をもっています。

ですから、保育の中で子どもの声をきちんと聴き取ることがなによりも大切だと思つと同時に、保育の中で「どうかかな？」「どうしようかな？」と迷った時には、子どもが私たちに、ヒントや答えを必ず示してくれていることを忘れないようにしたいです。

乳幼児の保育において、当たり前ですが、改めて『子どもから考える』を保育の根っこにおきたいと思えます。

10月 行事予定

2	土	うんどう会 (幼児)
5	火	身体計測 (乳児)
6	水	身体計測 (幼児)
7	木	秋の健康診断 (全園児) 0歳児健診
8	金	2歳児うんどう会ごっこ
9	土	園舎清掃 (業者による)
15	金	おたのしみ会 (父母の会主催)
19	火	第2回運営委員会 (リモート)
20	水	避難訓練
26	火	おはなし会

※2日・8日：はいチーズ撮影